

No. 2893

2018-2019年度

会 長 上野山 栄作

幹 事 嶋田 崇

R広報委員長 菅原 佳典

担当：中村副委員長・嶋田(ひ)委員



島海碩書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020
 創 立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2018-2019年度クラブ方針

Take Action and Enjoy!
 行動を起こそう！そして楽しもう！



次回のお知らせ

平成30年12月13日 第2895回

・年次総会

・ソング：「それでこそロータリー」

本日のプログラム

平成30年12月6日 第2894回

- ・外部卓話：江川美奈江氏、辻合竜也氏
 「地域に繋ぐ～認知症当事者の想い～」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第2893回例会）

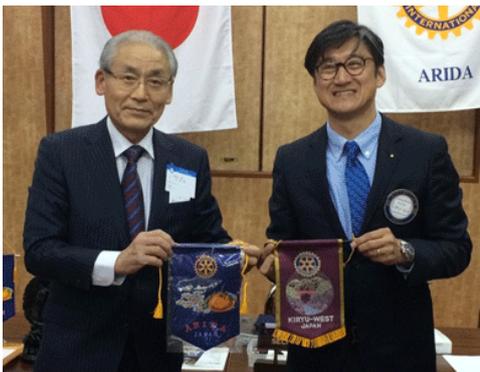
開催日 平成30年11月29日(木)

点 鐘 (上野山(栄)会長)

ゲストの紹介 (石垣(泰)親睦活動委員長)

ビジター：正田恵一君(桐生西RC会長)
 正田芳子様(奥様)

バナー交換



桐生西RC正田会長が例会へ出席してくれました。上野山(栄)会長とクラブバナーを交換しました。

会長の時間 (上野山(栄)会長)

「活動に無駄は無し！」

皆様、先週はお休みでご無沙汰しておりました。17日に行われたIMは皆様のご協力の中、内容の濃いIMになり、大成功だと思っています。また、ミャンマー国際奉仕事業にご参加の皆様、お疲れ様でした。本日は後ほど報告よろしくお願ひします。桐生西RCから正田会長夫妻がいらっしやってくれました。正田会長は私と職業分類が同じでもありますので、私の現在の仕事のスタイルから広がるビジネスの話しを少しさせてください。

私の職業は葬儀社ではあります。しかしながら、葬儀の

仕事はほぼやりません。お知り合いの場合は別ですが、年間を通して口出しすることもほぼありません。葬儀は当社の主軸であり、一番大切な事業です。その主軸を社員に任せることはとても怖いことですが、自主性を養い後継者育成という意味や、モチベーションを上げて欲しいと考えるところもあります。私の役目は大卒の理念や理想とする仕事を、社員により具体的に描いてあげるところだと思っています。

ということで、自分の時間が多く出来てきます。家族との時間や趣味はとても大事だと考えていて、それに費やす時間も多のですが、その他の色々なことにチャレンジしたくなります。例えば、葬儀業界全体の教育の向上のために収支を考えずに学校を運営してみたり、まちづくりのために自費でアメリカに何度も足を運んで町との繋がりをづくりをする活動もそうです。

自分の事業を使って世の中に貢献するというのが、ロータリーの根幹「職業奉仕」であるならば、逆に奉仕活動(自分はそのままで奉仕という認識がなく、面白そうだから首を突っ込むのですが)から始まり、色んな人脈が出来て、そこからビジネス(職業)が始まるというようなことが私の周りに沢山起っています。それは最初から予期して行なっている訳ではなく、何かしらの活動にはビジネスチャンスがくっついてくるとでも言いましょうか。先日東京のことで相談されて、真剣にサポートしていたら、当社も東京進出のチャンスが出来た(まだまだ、どうなることやら)というような事実もあります。

ミャンマー事業も同じであります。2回目になれば、現地での知り合いも深くなり、現地のビジネスに関わる皆さんとの出会いも出来ました。さらに今回の事業を完成させるためには、何が必要か？という様なことを考えていくと更なる発展系の事業が見えてきます。勿論、次年度の方針で変わりますが、変化をもたらす要因は沢山あります。

ここまでの一連の話に共通するキーワードは「人との出

会い」です。新たな人との出会いが新たなビジネスや事業を生むのです。勿論、それを結びつける発想力は必要でしょうが、本当に活動に無駄なものは何ひとつないと感じています。

幹事報告

(嶋田(崇)幹事)

1. 「ハイライト よねやま」が届く→丸山米山記念奨学会委員長にお知らせ
2. 地区より「クラブ雑誌・公共イメージ委員長会議」の案内→菅原R広報委員長にお知らせ
3. 12月のロータリーレート→112円/1ドル
4. クラブ懇談会(有志会員による忘年会)開催について
開催日: 2018年12月6日(木)
時間: 午後7時～9時
場所: 有田川町「和(なごみ)」0737-53-1753
会費: お一人5,000円
目的: 「ベテラン会員並びに長老会員」と「若手会員」の親睦を図るべく開催する。
交通: 「ベテラン会員並びに長老会員」には「若手会員」が送迎を担当する。
一人でも多くの皆様方のご参加をお待ち申し上げます。

ロータリー研究会の報告



第47回ロータリー研究会に出席した成川(守)PDGより、報告が行われました。

ロータリー研究会プログラム

- ▶ ロータリー財団とそのプログラムについての最新情報
- ▶ ポリオ撲滅活動の進捗報告
- ▶ RI5か年財務見通し計画 (RI理事が発表)
- ▶ 理事会への提案に関するオープンフォーラム
- ▶ ロータリー関連トピックについての講演 (国内外の講演者)
- ▶ 交流会、リーダーシップの発揮と奉仕を続けていく意欲を高める機会
- ▶ エンターテイメント (余興)、視察訪問

ロータリー研究会での実績(成川PDG)

開催年月	研究会回数	場所	テーマ	役割
2003年11月	第32回	東京	ロータリーの未来のビジョン (RI長期計画を含む)	パネリスト
2004年11月	第33回	広島	水と保健・環境 (水と感染症、疾病と環境)	パネリスト
2005年11月	第34回	東京	会員基盤の強化と公共イメージ	パネリスト
2006年11月	第35回	岡山	クラブ・リーダーシップ・プラン	モデレーター
2007年11月	第36回	東京	「水・保健・識字」水と健康について 「ロータリーの長期計画とR財団の未来の夢計画」	パネリスト
2008年11月	第37回	東京	パート1: ロータリーの長期計画 長期計画と地区やクラブ活動との関連	パネリスト



2018年11月18日(日)～21日(水)
神戸ポートピアホテル

2018-19年度 国際ロータリーゾーン1.2&3 第47回ロータリー研究会

招集者
RI理事 石黒 慶一
三木 明

ホスト: 第2680地区



ロータリー研究会

毎年開催されるロータリー研究会には、現在、過去、将来のロータリーリーダーが出席し、国際ロータリーとロータリー財団についての意見交換を行うほか、お互いの交流を深めます。研究会は後述のようなプログラムで、通常3～5日間開かれます。

また、規定審議会が開催される年度には、審議会代表議員と補欠議員のためのセッション、審議会立法案について討議するための本会議も行われます。



委員会報告

*IM実行委員会(脇村委員長)

去る11/17に開催しました第2分区IMでは、成川(守)アドバイザーを始めクラブ・事務局を挙げてのご支援とご協力をいただき、無事終わられましたこと、改めて厚く御礼を申し上げます。有難うございました。早速、足立功一先生からメールで「素晴らしいIMで地区大会を凌駕する内容でした」とのお褒めの言葉をいただきました。なお、本件は12/1発行予定のガバナー月信に投稿しておきましたので、ご覧ください。

出席報告

(木本例会運営委員長)

本日の会員数31名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数28名

(出席規定免除会員9名)

90. 32%

11/8 87. 10% MU:橋本君、中元君

11/15 93. 10% MU:児嶋君、脇村君

ニコニコ箱の報告

(松村SAA)

上野山(栄)君:皆様、17日のIMお疲れ様でした。大成功だと思っています。ミャンマーに同行頂いた皆様、大変お疲れ様でした。本日は桐生西RCより正田会長ご夫妻がおこし下さいました。ありがとうございます。

嶋田(崇)君:ミャンマー国際奉仕団のみなさま、お役目ご苦労様でした。今日の報告、楽しみです。先日のIM、みなさまご協力有難うございました。

正田恵一君(桐生西RC):本日は大変お世話になります。宜しく願い致します。

成川(守)君:ミャンマーの国際奉仕活動、ご苦労さまでした。感動を得られたことと思います。すばらしい!ロータリー研究会の報告をさせていただきます。

宮井君:ミャンマー国際奉仕チームの皆様、無事お帰りのなされ何よりです。御苦労さんでした。

上野山(捷)君:ご苦労様でした。無事の帰国報告、楽しみです。

中村君:ミャンマー国際奉仕参加の皆様、御苦労様でした。

脇村君:ミャンマー国際奉仕事業、ご苦労さまでした。

井上君:国際奉仕の皆様、おつかれ様でした。

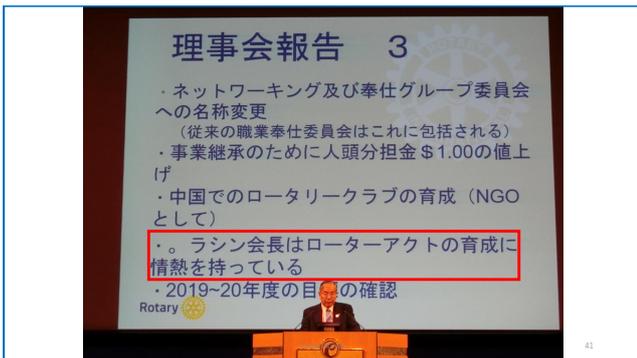
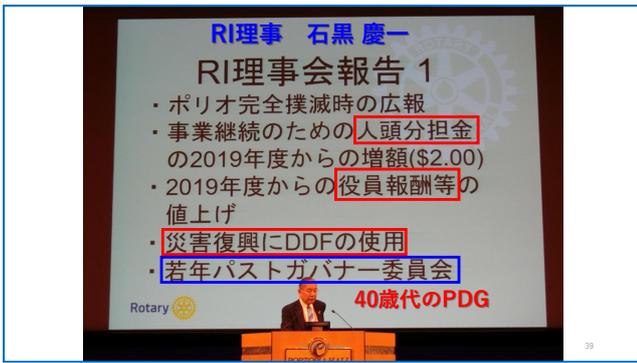
菅原君:正田様、ようこそ有田RCへ。ミャンマー国際奉仕ご苦労様でした。

木本君:ミャンマーチームの皆様、国際奉仕事業の報告、宜しくお願いします。

川口君:ミャンマー国際奉仕、参加された皆様、おつかれ様でした。本日も卓話宜しくお願い致します。

児嶋君:ようこそ有田ロータリークラブへ。正田夫妻、本日より宜しくお願いします。ミャンマーおつかれ様でした。

橋爪(誠)君:ミャンマー国際奉仕事業、無事に実施してまいりました。本日報告させていただきます。ご参加の皆様、本当にありがとうございました。感謝です。



橋本君:初めての国際奉仕事業、たいへん有意義でした。サポートしていただいた方々に感謝致します。
 中元君:会員の皆様、ミャンマーでの奉仕活動のサポートありがとうございました。
 丸山君:無事、なんとか帰国できました。
 松村君:ミャンマーの職業訓練事業楽しんでできました。みなさまのご支援ありがとうございました。桐生西RCの正田様、奥様、ようこそお越し下さいました。

したし、国際奉仕ならではの気づきだと思いました。2年連続ミャンマーに同行頂いた濱崎さんとMJTのスタッフの皆様に深くお礼申し上げ、報告とさせていただきます。

<参加者の感想>

橋本拓也君

今回初めて国際奉仕事業に参加して、すごく心に残る感動的な経験ができ、たいへん良かったです。
 我々有田ロータリークラブが行っている農家の方への有機栽培の普及が、たくさんの現地の方々を巻き込んだ活動になっていることにびっくりしました。多くの農家の方がキラキラ輝く眼で講義を聴いたり実習に参加したり、また、現地のTV局や地方議会の議員の方々までが駆け付け、この事業を注目していました。話しかけても親しみを持った表情で接してくれる素朴なミャンマーの方々。MJTさんとその懸け橋になっている濱崎さんがサポートしてくれているからできている事業。これからももっともっとミャンマーを応援したくなりました。

丸山芳孝君

ミャンマーの人々は人なつっこく親切でした。印象に残っているのは孤児院で日本から持ってきたおもちゃのバットやボール、折り紙をおみやげとして渡したら、子供達が目を輝かせて非常に喜んでくれたことです。また国際奉仕事業参加の他の有田RC会員さんと寝食を共にし、より親睦が深められ大変楽しかったです。

児嶋正人君

ミャンマー国際奉仕事業で、ヤンゴン・バゴの町や村の人々とふれあい、また子供たちと遊べたことなど、貴重な経験をさせていただきました。
 有田RCのこの事業は本当に素晴らしい奉仕事業であることを実感できました。皆様お疲れ様でした。

中元耕一郎君

私は今回で第2回目のミャンマー国際奉仕事業の参加となりました。私のミッションは、事業参加者全員が健康に無事帰国することにあります。そういった意味で、今は安堵しています。
 今回事業の目的を達成することができたのも、会員の皆様のバックアップのおかげと心より感謝致します。会員の皆様本当にありがとうございました。

松村秀一君

皆様のご支援のおかげでミャンマー国際奉仕事業ができました。2度目のミャンマーは昨年以上に楽しめました。今年はJTBの添乗員さんがロヒンギャの人権問題について細心の注意を払いながら時間をかけて説明していました。

上野山栄作君

今回の中で最も嬉しかったのは、昨年事業を行ったキュントンピン村を再び訪れ、村人の話を聞いた事でした。実際に有機肥料を制作実践している農家からのリサーチによると以前より経費は6割に抑えられ、作物の育

ミャンマー国際奉仕事業の報告



<橋爪誠治国際奉仕委員長より事業報告>

昨年度より始まった地区補助金を活用したミャンマー国際奉仕活動を、本年度2018-19年度も平成30年11月22日から25日の日程で実施してまいりました。本年度の事業テーマは「笑顔で心のこもったふれあいを」を掲げ、ミャンマーの皆様と有田ロータリークラブが友好な関係を築ければという想いで事業を行いました。有田ロータリークラブからの参加者は、上野山栄作会長、橋本会長エレクト、松村君、中元君、丸山君、児嶋正人君、橋爪誠治の7名で、昨年度も引率頂いたMJT日本人スタッフ濱崎さんと共に有田ロータリークラブ会員皆様の想いを持ってミャンマーに行ってきました。行程は下記の通りです。

23日9:30 バヤリー村にて有機肥料を活用した農法セミナー5日プログラムをスタート。

昼食後、13:30頃よりパンチャンコン学校の生徒に寄付事業。(現地調達のお米・文具、日本からミカサ事務機(株)さんよりの寄贈品のノート・ペン・色ペン、有田RCのニコニコ献金と参加者の寄付金から日本の玩具・竹とんぼ・けん玉・色紙・風船・野球グッズ等々を寄贈してきました。)

15:00頃からバヤリー村に戻り穀類酢液製造方法研修に立ち会う。

18:30よりバゴ地区の政治家、経済界の有志参加のもとミャンマー国際奉仕活動の懇親会を開催。

翌日24日はミャンマーに初めて訪問のメンバーはミャンマー最大の都市ヤンゴンの市内観光。ミャンマー2回目のメンバーは、バヤリー村の2日目のセミナー見学と、昨年度有機肥料を活用した農法セミナーを実施したキュントンピン村に昨年のセミナー実績ヒヤリングを実施。

24日18:30より、参加者全員揃ってミャンマー米山学友会会長のダンシンナインさんとMJT代表者のイェツンさんを招いて親睦会。

過密スケジュールで参加者の皆様にはご不便をお掛け致しましたが、何とか無事に帰国できたことを感謝しています。文化の違った異国での奉仕活動で、言葉は通じなくとも笑顔と握手で肌の温度を感じればきっと素敵な未来があるような気がしてなりません。印象的な言葉は、昨年度の農業従事者のお言葉で、「農法の勉強が初めてできて嬉しかった」という感想です。日本の当たり前の幸せ、日本の恵まれた環境がいかに幸せかを痛切に感じま

ち方も非常に良いとのことで、経済効果は非常に高い様です。問題点としては明らかに品が良い作物であるのに、それを評価して、値段が上がる仕組みがなく、単に数量でしか販売できていないという事でした。費用の軽減と安全な農法という意味では非常に効果が出ていますが、オーガニック野菜で差別化という所には至っていません。食に対する文化革命が必要だと思います。しかしながら、村人たちに「農法により人生が変わった」と言葉を頂いたことは、この事業の最高の成果であると実感することが出来ました。



閉会・点鐘 (上野山(栄)会長)